

3. 地球人間圏科学

持続可能な日本, アジア, 世界の実現への道

サステナビリティ
知識・情報の質・
量・モビリティ
etc.

地球表面の自然現象及び自然と人間活動との関連を明らかにする

持続可能な日本・アジア・世界への道を見いだす

地球、生命、人、社会を理解する

- ・陸域持続可能性研究:
土地利用・土地被覆変化、土地・資源・エネルギー、都市・農村、林野、土壌、水文、環境保全、生態系保全、環境劣化、廃棄物、統合モデル、地球情報
- ・沿岸・縁辺海域・海洋持続可能性研究:
陸域-縁辺海域システム、沿岸・縁辺海域利用、環境保全、生態系保全、海洋資源、汚染の発生と浄化
- ・リスクマネジメント研究:
気候変化影響、地震、洪水、津波、地形災害、火山災害、自然災害軽減、複合的リスク管理
- ・地球人間圏科学研究・教育・情報ネットワーク:
学校市民参加モニタリングネットワーク、ESD、地球人間圏科学教育、グッドプラクティスの発掘と推進

- ・地球人間圏科学研究・教育・情報ネットワークの一層の充実と世界的展開
- ・陸域・沿岸・縁辺海域・海洋持続可能性研究の一層の充実と世界的展開
- ・リスクマネジメント研究・教育の一層の充実と世界的展開
- ・グッドプラクティスの充実と推進

持続可能な世界

GSRグランドチャレンジ Phase III

平和な世界

人と自然の究極的調和

すべての人類の協和
すべての英知の結集
地球環境倫理の確立

GSRグランドチャレンジ Phase II

人・情報・知識の循環

教育・研究に駆動される

パートナーシップ

- ・持続可能な世界を生きるための新しい地球観、生命観、世界観、人間観の創出
- ・地球環境問題の克服:人口問題、食糧問題、土地・資源・エネルギー問題、温暖化問題
- ・汚染の縮小、自然災害の減少、格差・貧困の削減
- ・持続可能な世界を導き維持する地球人間圏科学の更なる高度化と教育の推進
- ・科学の果実の全人類の共有

GSRグランドチャレンジ Phase I
GSR: グローバルサステナビリティ研究

循環・アウトリーチ

環境変化や災害の予測

ネットワーク

サステナビリティ科学・教育プラットフォーム・ネットワーク
地球人間圏科学
ESD (持続可能な発展教育)
GSR
.....

地表環境改善のイノベーション

教育

地球表面現象の観察・観測

安全・安心な社会への対策

破局回避

全人類のパートナーシップ確立

新しい地球観、生命観、世界観、人間観

実態把握

地球人間圏の観察・モニタリング、地図・地理空間情報の整備と活用

地球人間圏科学・教育の充実と世界的展開

2010年

2020年

2030年

2040年

西暦

サイエンスレベル